

## 論文審査の結果の要旨

氏名：小島 泰子

博士の専攻分野の名称：博士（生物資源科学）

論文題名：食品企業の経営戦略と農業参入

審査委員：(主 査) 教授 清水 みゆき

(副 査) 教授 水野 正己

教授 川手 督也

准教授 小野 洋

本論文は、近年の農業の新たな担い手に道を開くものとされた2000（平成12）年と2009年の農地法改正以降、急速に進展する企業の農業参入のなかでも、とくに大手量販店の展開が著しい食品小売業を中心として、その参入目的、参入戦略、参入経緯を中心として展開過程を明らかにするとともに、その農業参入が、単に農産物の調達のためだけではなく、当該企業の経営戦略に大きく規定されて行われていることを明らかにした。

大手量販店を含む食品小売業の経営環境は厳しく、各企業は他社との差別化を狙って、経営戦略の転換を求められている。そうした経営環境の現状を踏まえ、従来競争戦略の分析で用いられることの多いM.E.Porterの経営論ではなく、企業の経営戦略と組織構造との関係を分析するA.D.Chandlerの経営戦略論によって、各企業の経営戦略の変化が組織構造にも変化をもたらしたことを示すとともに、業界1位と2位の企業行動を、後追い戦略である「ランチェスター戦略」を用いることによって、農業参入の目的を明らかにしたことは、農業参入を経営戦略に位置付けた分析としては初めての試みといえるであろう。

以上のように、企業本体の経営戦略と農業参入との関係性を明らかにしたことは、従来の農産物調達という目的だけでなく、企業の経営戦略の多様化に伴い、多様な目的で農業参入の方向性があることを示しており、今後の日本の農業の展開方向の可能性に、新たな学術的知見を加えたといえる。よって本論文は、博士（生物資源科学）の学位を授与されるに値するものと認められる。

以 上

平成29年2月21日